

# 新型コロナウイルスに関するよくある質問

**Q** 八王子医療センターの状況どうなっていますか。

**A** 現状について、ホームページの『お知らせ』へ掲載していますので、ご確認ください。

**Q** 熱が 37.5℃以上ある場合どのようにすればいいですか。

**A** ● **初診の場合**・・・厚生労働省の指示により、新型コロナウイルス感染症に関する受診を希望される場合は、当院を含め、医療機関に足を運ぶ前には、必ず、事前に「帰国者・接触者電話相談センター」(お住いの地域の保健所等)に連絡し、受診先についての相談をする事となっております。直接ご来院されることはご遠慮ください。

「帰国者・接触者電話相談センター」の連絡先については  
(東京福祉保健局ホームページ)

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/>をご参照ください。

《厚生労働省の電話相談窓口》

TEL 0120-565653 (受付時間:9時~21時※土日祝含む)

《東京都福祉保健局の電話相談窓口》

TEL 0570-550571 (受付時間:9時~21時※土日祝含む)

- **再診・予約の場合**・・・当日朝の時点で、熱が 37.5℃以上あるようでしたら、**診療科**へ連絡してください。

**Q** ネットで診療できますか。

**A** 現在は、行っておりません。

**Q** お薬だけもらえないか。

**A** 原則お受けしておりません。

**Q** 院内の感染対策は何をしていますか。

**A** ●職員への教育は WHO(世界保健機構 )や日本環境感染症学会(URL を張ってください)、厚生労働省の示すガイドライン、指針に基づき指導をしています。コロナウイルスに対しても同様に WHO

<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019>

日本環境感染症学会

[http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content\\_id=341](http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=341)

厚生労働省

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

を参考に対応しております。

●全職員は就業中に適切なサージカルマスク着用・WHO5 つのモーメントに基づく手指衛生・咳エチケットの徹底を指導しております。

●全職員へ「3密」を回避し、1日2回の体温測定ならびに記録を義務付けております。発熱がある職員を院内で複数の部門が把握できる仕組みをとっています。

●患者さんについても、受診・検査等でご来院の際は、鼻から顎までカバーされた適切なマスク着用・手指消毒・咳エチケットの徹底をお願いしております。

※マスクは各自でご用意ください。

詳細はこちら(厚生労働省 咳エチケット)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

●当院は院内で新型コロナウイルス PCR 検査はできません。職員・患者様・ご家族が協力し上記の対応を行うことが最も重要な感染対策となります。

## Q 面会はできますか。

A 院内での新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、薬剤耐性菌の拡大を防止、感染を防ぐため、面会は原則禁止とさせていただきます。

なお緊急で当院より呼び出しがあった場合や、医師より診療に関する説明を受ける予定がある方、手術の付き添い等の方は、下記の通りお願いいたします。

### 1. 面会者は、1名でお願いします。

ただし以下の方は、面会をお断りさせていただきます。

ア：咳、咽頭痛、結膜充血、下痢、37.5℃以上の発熱、などなんらかの症状のある方

イ：2週間以内に、アの症状のあるご家族やご友人と接触した方

ウ：2週間以内の海外渡航歴のある方

エ：新型コロナウイルス感染症と確定診断されたことのある方、確定診断された方との接触がある方

### 2. マスク着用、手指衛生と咳エチケットの遵守をお願いします。

入院されている患者様のご家族におかれましても、当院への来院の有無にかかわらず、マスク着用、手指衛生と咳エチケットの遵守、3密(詳細を記入してください)の回避の徹底をお願いいたします。

## Q 感染者の入り口と待合室は、別ですか

A 当院は疾患により入口と待合室を分けています。

接触することがないように最大限の努力をしています。